

第 37 回霧ヶ峰自然環境保全協議会 座長あいさつ

霧ヶ峰自然環境保全協議会
座長 土田 勝義

霧ヶ峰の積雪は例年の6割ほどで、いよいよ動植物が活発に動き出す季節が始まるうとしています。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今回の協議会は書面での開催となってしまいました。霧ヶ峰に関わる多くの皆さまが、霧ヶ峰の保全・再生のために一堂に会して意見を交わす貴重な機会が失われたことについて、非常に残念に思っております。

手探りで始めた霧ヶ峰自然保全再生作業ですが、経験を積み重ねながら年々作業効率も向上し、一定の効果が確認されております。

また、今年度は、例年とは異なり、一般ボランティアの募集ができない中での作業となりましたが、これまでの作業の効果を引き継ぎ、蓄積した経験や知見を踏まえて、あらためてしっかりと取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。

今回の協議会では主に、本年度の個別作業の実施状況と来年度の個別作業計画や事業計画を提案させていただきます。資料をお送りいたしますので、内容等についてご意見をお寄せください。また、その他霧ヶ峰の保全・再生に関すること全般についても、忌憚のないご意見をいただければと思います。

皆さまからのご意見とともに、引き続き、霧ヶ峰の保全・再生についてより良い方向へ進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。